

競技概要(千葉予選)

- 【競技方法】
- ・ 18ホールストロークプレー
 - * 悪天候等により9ホール競技に短縮する場合もある
- 【予選通過】
- ・ プロ25位タイ、アマ10位タイまでが決勝ラウンド進出
- 【使用ティ】
- ・ 男子プロ・研修生、男子アマは (青) 使用
 - ・ シニア(満50歳以上)の男子プロ・研修生、男子アマは (白) 使用
 - ・ 女子プロ・研修生、女子アマは (白) 使用
- 【その他】
- ・ 2点間距離計測機の使用を可能とする(高低差機能は禁止)
 - ・ アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。
 - ・ 修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。
 - ・ レッドペナルティエリアは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する
 - ・ ジェネラルエリアにおいて、球がその勢いで地面に食い込んでいるときは罪無しに拾い上げ、地面に食い込んでいた場所の直後を基点に1クラブレングス以内のジェネラルエリアにドロップをする。
 - ・ カート道路や舗装された道路、サブグリーン(グリーンエッジを含む)はプレー禁止とする。
その際、スタンスがかかる場合も救済を受けなければならない。
 - ・ 一部グリーンとグリーンエッジの境界に溝があり、溝に球が触れている場合はオングリーンとする。
 - ・ ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフターンのパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)
 - ・ プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。
1. 3番ホールにおいて、球が防球ネットを越えて4番ホールに行った場合は、ドロップゾーン(黄線にDZで表示) から無罰でプレーすることができる。
 2. 13、14番ホールにおいて、パッティンググリーン奥にある防球ネットに球が近接しているため、スタンスや意図するスイング区域の妨げになる場合、次の選択肢がある。
 - ①規則16.1に基づく処置
 - ②無罰でドロップゾーンに球をドロップする、このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。